

## 天声人語

故ウォルター・クロンカイト氏といえば、米CBSテレビのキャスターを19年間つとめた伝説のジャーナリストだ。番組でベトナム戦争に反対を表明し、政権に大きな影響を与えた。1981年に降板。当時、新聞記者を志す学生にも輝ける存在だった▼その硬骨漢にして、一度だけ圧力を受け、妥協したことがあった。生前、本紙の取材に語っている。72年、ウォーターゲート事件を報じた番組にニクソン大統領周辺が激怒し、局の首脳部に続報の中止を要求してきたという▼ニクソン再選のかかった大統領選の投票日が迫っていた。続報の長さを半分にする妥協案が出された。番組の編集責任者でもあったクロンカイト氏は強く反対したが、意志を貫くことはできなかつた。「後悔している」と振り返っている▼権力の介入に抵抗し、表現の自由を守ることの大切さを改めて思う。放送局に電波停止を命じる可能性に高市総務相が言及したことに対し、「立憲デモクラシーの会」の憲法学者らが発表した見解は説得力に富む▼放送法は確かに政治的な公平性を求めているが、それは局の自主的規律に委ねられるというのが通説だ。特定の政党に属し、政党政治の当事者である総務相が、政治的に公平かどうかを判断するのは本来おかしい。その立場で処分を行うなら、憲法違反との批判は免れない、と▼政権に批判的な言説などを「偏っている」の一語で指弾する風潮が続く。表現の自由への脅威に抗するのに、テレビも新聞もない。

2016・3・8